

取り付け手順

1 給水管内の清掃

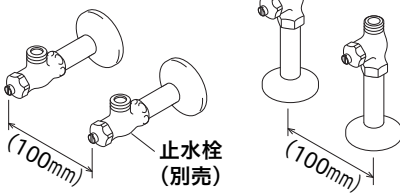
配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2 止水栓(別売)の取り付け

給湯管と給水管の間隔は100mm程度で取り付けます。
水受けタンク又はトレーを設置する場合は、水受けタンクまたはトレーの寸法をご確認の上取り付けください。
止水栓はストレーナ付が最適です。
寒冷地用は水抜き栓付止水栓を取り付けてください。

ストレーナ付
止水栓

水抜き栓付
止水栓

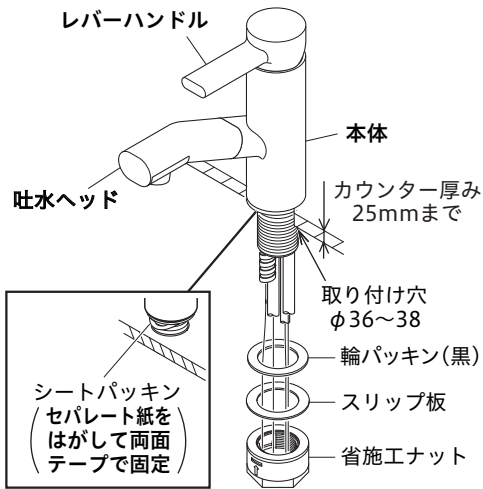


3 本体の固定

取り付け穴周囲の汚れを取り除いた後、吐水ヘッドが正面にくるように本体を完全に固定します。
その際、本体に貼り付けてあるシートパッキン下面のセパレート紙をはがして固定してください。

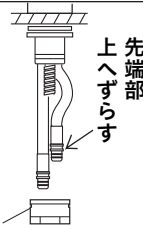
【△注意】

- セパレート紙は必ずはがしてください。セパレート紙をはがさず固定した場合、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 吐水ヘッド、レバーハンドルを持って締め付けますと破損のおそれがありますので、これらは持たないでください。



省
施
工
ナ
ット
の
通
し
方

省施工ナットを通す時は、
ブレードホースの先端部
のひとつを上にはずらして
通します。



省
施
工
ナ
ット
の
締
め
方

ねじ部がスライドして上へ上がります。

- ① 上へ押し上げる
天板にあたるまで
上へ押し上げる
- ② 締め付ける

【△注意】

省施工ナットはねじ部に差し込むだけでは完全に取り付けできません。締め付けは、専用工具G11(別売)で行ってください。しっかり締め付けられていないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

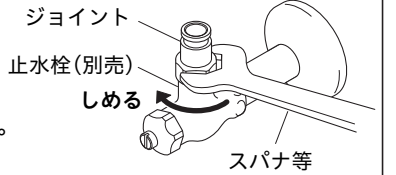


4 止水栓との接続(逆止弁付仕様、逆止弁無し仕様共、接続方法は同じです。)

- ① ジョイントを止水栓に接続します。

【△注意】

- 接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
- 薄肉の接続管(ニップル等)にはジョイントを接続しないでください。パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- 止水栓がしっかり固定されていることを確認してください。固定されていないとブレードホースが抜け、漏水の原因となります。

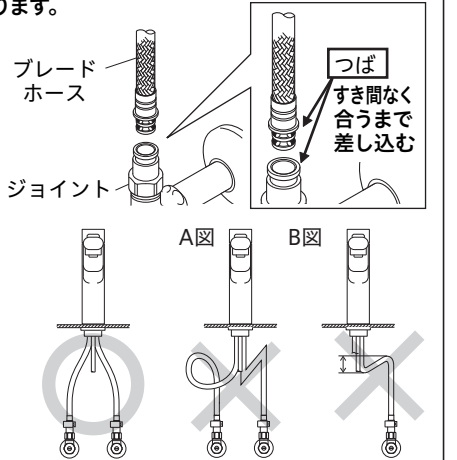


- ② ブレードホースのつばとジョイントのつばが
すき間なく合うまで差し込んでください。

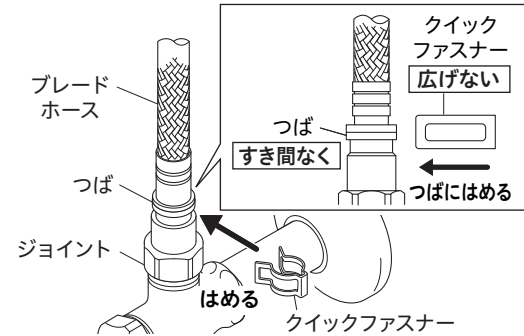
【△注意】

- ブレードホースはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)
急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起こし、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- 上下戻り配管はやめてください。(B図)
ウォーターハンマーなどでブレードホースが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
- ブレードホース同士などへの不要な接触は避けてください。摩耗による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があります。

【お願い】ブレードホースは切断しないでください。

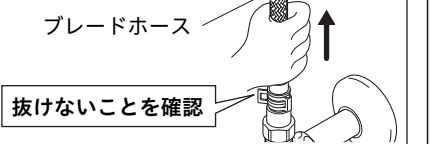


- ③ クイックファスナーを、ブレードホースとジョイントのつばにはめます。

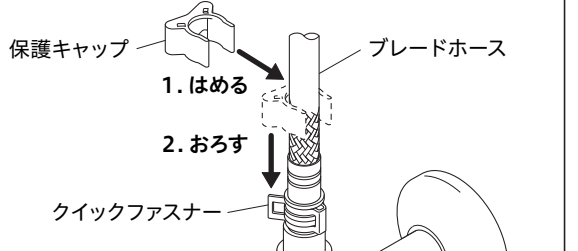


【△注意】

ブレードホースを上につっぱって、抜けないことを確認してください。しっかりはまっていないと漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

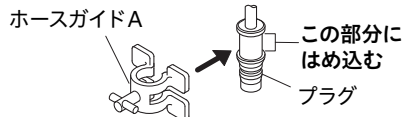


- ④ クイックファスナーに保護キャップをはめます。
この時、保護キャップはブレードホースにはめてから、クイックファスナーまでおろします。

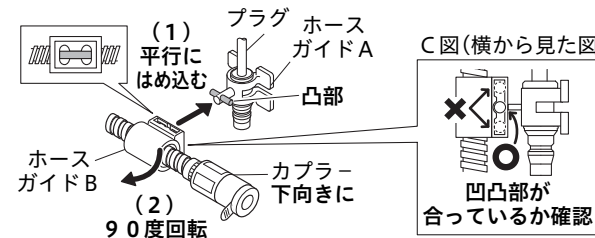


5-1 吐水ホースの接続

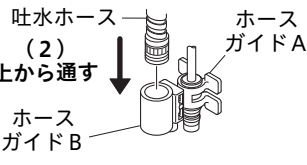
- ① 同梱のホースガイドAをプラグにはめ込みます。
【お願い】ホースガイドは壁面に固定しないでください。



- ② (1) ホースガイドBを、ホースガイドAの凸部と平行になるように、ホースガイドAにはめます。
(ホースガイドBは、一般地仕様の場合はホースに付いています。寒冷地仕様は同梱しています。)
- (2) (一般地仕様の場合)カプラーが下向きになるように、ホースガイドBを90度回転させます。
(寒冷地仕様の場合)ホースガイドBを90度回転させ、吐水ホースを上から通します。

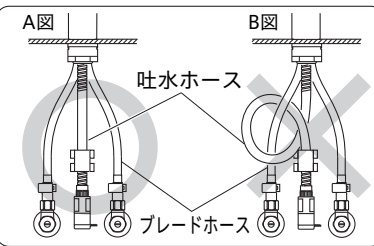


寒冷地仕様



【△注意】

- 固定した際、吐水ホースがA図のようにまっすぐ垂れ下がるようにしてください。
B図のように、ブレードホースに引っ掛けたり、ひねったりしないでください。
吐水ホースが破損し漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 【お願い】ホースガイドAとBを横から見て、凹凸部が合っているか確認してください。
ずれている場合は合わせてください。(C図)

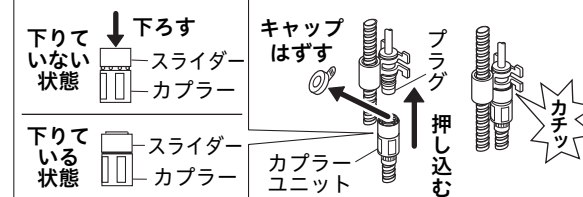


- ③ (一般地仕様の場合)カプラーと吐水ホースの接続が緩んでいないか確認してください。
緩んでいる場合はカプラー手締め後、約30度増し締めしてください。
(締め付けトルクの目安は約100N・cm)
- (寒冷地仕様の場合)水抜き付きカプラーと吐水ホースを接続します。
水抜き付きカプラー手締め後、約30度増し締めしてください。
(締め付けトルクの目安は約100N・cm)

- 【△注意】カプラー等の接続の際は、以下の内容に注意してください。
漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
※カプラーの締め付け不足や締め付け過ぎ
※吐水ホースのセレーション部以外に工具をかけない
※吐水ホースはねじらない

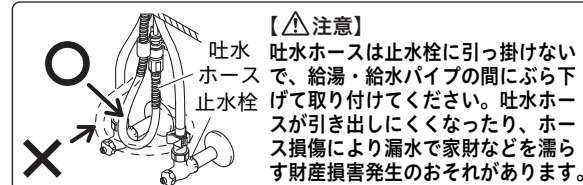


- ③ カプラーのキャップをはずし、スライダーを下ろしてから、本体のプラグへカチッと音がするまで押し込みます。(スライダーがすでに下りている場合もあります。)
取り付け後、カプラー(寒冷地仕様は水抜き付きカプラー)を引っばってはずれないことを確認します。



【△注意】

- カプラー取り付け後、確実に接続されているか、以下の確認を行ってください。
確実に接続されていないと、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- スライダーが5mm程度上がっていること
- 5mm程度
- カプラーを真下に引っばってはずれないこと



洗面台に水受け用タンクがある場合 吐水ホースの出し入れを繰り返しても確実にタンクに収まるようにしてください。(ホースとの接続の銅管部を少し曲げるにより左右に調節することができます。)

取り付け後の点検と清掃

通水確認

- 【△注意】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部及び水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

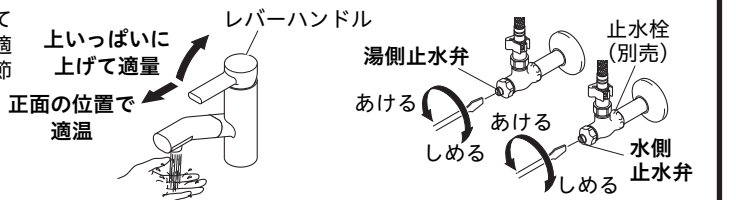
泡まつ器清掃のお願い

吐水ヘッドの泡まつ器にゴミ等がつかまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

湯温・流量調節

レバーハンドルが正面を向いている位置で適温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。



水栓本体内部のメンテナンスをする場合

水栓本体内部のメンテナンスをする場合は、取扱説明書の「カートリッジのメンテナンスをする場合」の手順で取りはずしてください。

➡ 取扱説明書「水栓本体内部のメンテナンスをする場合」参照

- 【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。